

第 21 回総合治水ワーキングチーム会議の協議結果

日 時 平成 18 年 2 月 1 日 (木) 13:30 ~ 20:15

場 所 宝塚商工会議所

出席者 (委員) 松本(誠)、奥西、川谷、畑、村岡、長峯、岡田、加藤、佐々木、
田村、中川、浅見、法西、伊藤、草薙、酒井、谷田、土谷
(河川管理者) 田中、渡邊、松本、前川、合田
(農林水産部) 福田、鶴崎 (河川整備課) 糟谷 (公園緑地課) 橋
(公園都市整備課) 松村 (教育委員会) 田中、藤田
(事務局) 黒田、前田、植田、木本

内 容(協議結果)

1 流域対策の検討

河川管理者から「武庫川における遊水地の検討 - 遊水地による流量カットの算定 - 」及び「流域対策施設の選定〔基本方針レベル〕」について説明があり、以下の件について検討課題を持ち越した。

遊水地(河川施設)の候補地試算例として河川管理者から説明のあった箇所については、1)敷地面積、掘削形状等の構造について再検討し、また河川整備計画に位置づけできるかどうかも検討 2)この箇所を選定した具体的な理由と周辺および委員から指摘された地点についての評価を整理して報告する 3)事業費の試算については現実に即して再精査を行う。

学校・公園については、下流の河川が整備計画レベルの改修が完成した時点で、さらに大きな雨に対応する構造に改修し基本方針レベルの雨に対応させる。計算にあたっては、1)青野ダム上流域の箇所は対象外とする 2)オフサイト貯留を基本とするが、地形等によりオフサイト貯留が困難な箇所ではオンサイト貯留とする。また、参考資料として、1)今回河川管理者から説明があった箇所の合計貯水面積・治水容量等の説明 2)H16.10.18型モデル降雨で計画規模1/20対応オリフィスのとき、計画規模1/100の降雨があった場合の効果量を算出して報告する。

駐車場貯留、棟間貯留、防災調整池の検討にあたって必要となる資料を収集する。

ため池、防災調整池は次回に持ち越したが、委員から要請のあった資料を補強する。

2 その他

(1) 次回以降の会議の協議事項

防災調整池の数値化の検討

ため池、水田の数値化の検討

遊水地(結果として湛水地域、公共施設・都市施設)について、それぞれの運用等の可能性及び数値化の検討

利水ダムの活用の検討

(2) 今後の日程(開催日時)

第 22 回 2 月 8 日(水) 13:30 ~

第 23 回 2 月 15 日(水) 13:30 ~

第 24 回 2 月 20 日(月) 13:30 ~

第 25 回 2 月 27 日(月) 14:00 ~